

「省エネ市民会議」					
会議年月日	26年11月7日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	新美、難波、新田、平手(記) (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				
議 題					
＜環境マネジメントシステムの基本＞					
環境マネジメントシステム(EMS)とは事業者が基本的な環境方針を打ち出し事業活動を伴う環境側面を洗い出し、目的・目標を設定し、その行動計画を策定し、それを実施・運営したのち点検・監査を施し、環境管理責任者によるシステムの見直しと継続的な環境改善を進めるマネジメント・サイクルの体系をいう。					
・ISO14001とは？					
上記EMSの国際標準規格。EMSの仕様及び利用の手引きとして、及び第3者が適合性審査のために使用する。規格の内容は①事業活動に伴う環境への影響の体系的かつ継続的な改善、②環境配慮への明確な位置づけ(環境方針の誓約)、③前記誓約を具体的な目標に策定して実施・運用・点検・検証及び是正し、経営層が見直しするという管理のサイクル(PDCA)を継続的に実施する仕組みを定めたもの。					
・ISO14001の自己宣言とは					
事業責任者が環境方針の誓約及び環境目標を公開しその運用・実行を宣言すること。但し第3者による監査(認証審査)がないのでその効果検証は自己評価の範囲にとどまる。					
・流山市が採用している「エコアクション21」の効用は？					
ISO14001が国際標準規格で認証・登録・維持審査費用もかかることからEMSを基本に簡易版として主に公共事業体を中心に、職場の3R活動、省エネ活動の目標達成度を内部監査及び第3者評価で点検するため、上記自己宣言より効用があると考えられる。但しISOの審査が「適合・不適合」の判定(審査)であるの対し、エコアクション21は審査員が不適合の是正をアドバイス、指導することが出来るため緊張感が薄れ、組織での運用が形式的なものになりやすい。					
・省エネの新しい尺度の提案					
昨年度に引き続き県内推進員の光熱費調査において、年間の光熱費を熱量(MJ)またはkWh換算することによって原単位(延べ床面積・人)で試算した結果を説明した。					
原単位採用で効率的なエネルギー消費か否かの評価が出来ることが評価された。					
環境家計簿が普及しないのに原単位による省エネ度チェックは却って新たな混乱要因となる意見もあったが省エネ会議で環境家計簿の検証、評価することが提案された。					
・みんなで討議					
平手作成「間違いだらけの省エネ」をたたき台として討議した。冬期、隙間からの風が冷たいのはそれ相当の熱(空気)の移動があったのと同じという表現については「間違い」と断定することが「間違い」との指摘があった。いづれにせよ住宅の断熱環境工夫が省エネ(=浪エネ防止)の決め手という認識で一致した。					
☆次回第89回省エネ市民会議開催日: 12月5日(金) 以上					

「平成 26 年 11 月度 省エネ市民会議」

2014-11-7 (金) 13:30~15:30

於：流山市生涯学習センター

